



文化博物館だより 第221号

2008年7月24日

夏休みが始まりました。空調のきいた館内では、元気な子ども達の姿が見られますが、外は猛暑・・・帽子や日傘が手放せません。

イベントがてんこ盛りです

19日(土)『ロボット大図鑑2008展』の幕が開きました。そして、開会初日からの連休期間中には、ロボットショーなどの様々なイベントが開催されました。

今回の展覧会期間中にしばしば登場する、ドクターオチャメ。ロボット工作教室では、子ども達に「カム構造」について説明し、楽しくドタバタ動くロボットの作り方を約2時間にわたって教えてくれました。

また、ギャラリートーク「ロボットの歴史」でも年代別に、資料などを見せながらドクターオチャメが解説を行いました。彼の正体は、会場で直接、確かめてくださいね。



ギャラリートーク

20日(日)・21日(月・祝)には、明石高専の学生達が、昨年のロボコンに出場したロボットのデモンストレーションを行いました。立てられた旗を落とす速さを競うゲームをするロボットの操縦体験は、会場に集まった人たちにも人気です。子ども達は、高専の学生に操縦方法を習いながら、リモコンを操作していました。



明石高専ロボットショー

会期中の土曜と日曜を中心に、ロボット展では、イベントが予定されています。それ以外でも、2階の展示室には、wakamaru(©三菱重工業)がいます。見かけたら、ぜひ声をかけてみてくださいね。

『ロボット大図鑑2008展』では、川崎重工業の「キューブ君」が、8月7日(木)からの展示予定。また、8月18日(月)には、村田製作所の「ムラタセイサク君®」がやってきます。

新しいロボットだけでなく、ロボットが登場する様々なアニメやフィクション作品の資料も、見るができます。みなさんの一番親しんだ作品があるか、どうぞ展示室で探しながら楽しんでくださいね。